

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和8年4月22日（水）

### 2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアC（図1）

### 3 確認項目

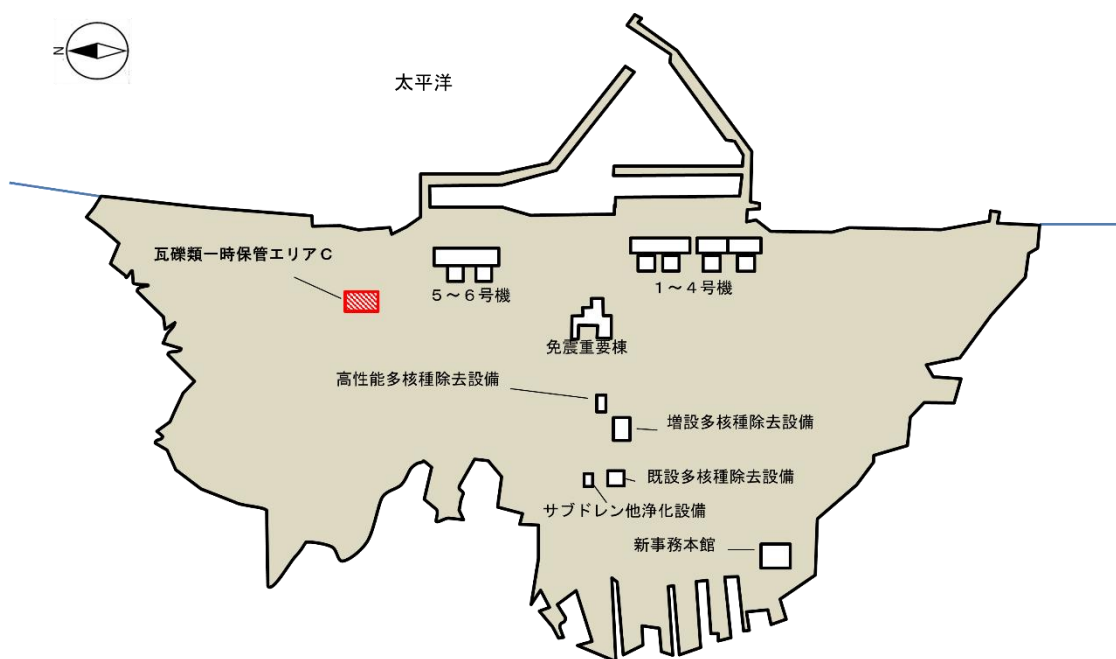
瓦礫類一時保管エリアCの状況

### 4 確認結果の概要

東京電力では、中長期ロードマップの目標工程である「2028年度内までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外での保管を解消」を達成するため、屋外で一時保管されている瓦礫類等の固体廃棄物を屋外保管へ移行し、屋外一時保管の解消を進めている。

今回、瓦礫類一時保管エリアCにおけるエリア解消作業の進捗状況や固体廃棄物の保管状況等について確認した。（前回確認：[令和8年3月12日](#)）

- 瓦礫類一時保管エリアCは第1～4工区に分けられ、全ての工区において瓦礫類の取り出し作業が進められており、現場確認時には、第2工区で作業が行われている状況であった。（写真1）
- 第2工区の作業ではダスト飛散防止対策として、重機に取り付けられたノズルから散水しながらダンプ車への瓦礫類の積み込みが行われていた。また、作業エリアには、誘導員が配置されているなど、安全対策が講じられていた。（写真2）
- 当該エリア内での作業に伴う放射性物質の飛散状況を監視するため、ダストモニタが設置されており、作業時のダスト濃度をリアルタイムで連続測定し、設定値を上回る場合には、作業を停止する措置が講じられていた。（写真3）
- 確認した範囲において、瓦礫類のエリア外への飛散等の異常は認められなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 第1工区



(写真1②) 第2工区



(写真1③) 第3工区



(写真1④) 第4工区



(写真2①) 重機の作業状況



(写真2②) 瓦礫類のダンプ車への積み込み



(写真3①) ダストモニタの設置状況



(写真3②) ダストモニタの吸引口

## 5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。